

大問一

問一 a 採用 b いまし c ごんげ

問二 ウ

問三 イ

問四 論理的に明らかではないことでも、自らの意思決定を拘束させ、  
全体で決定したものに反すると罪にさえなるという点。

問五 オ

問六 絶対の神を持たない日本人にとって、臨在感的に物事を把握し、それが絶対化  
される対象はあらゆるところにあり、対立概念で対象を把握することが排除され、  
二重性の中で物事を見ることなく考え方や主張を支配されること。

問七 ア・エ

大問二

問一 a きょう b 有無 c ほて d 弾

問二 手塩

問三 自分に学校を休んでまで二人で雪見に行くという聡子の我儘な申し出におどろき、  
疑問に思っているが、飯沼は間違いないと断言し、抗えない雰囲気を出している点。

問四 ウ

問五 学校を休み、許されない恋の相手である聡子と二人で雪を見に行くことに困惑して  
いたが、聡子の意のままになる新鮮な快さを感じ、両親には秘密の中、どうしても自  
分と二人で雪の中を出ていきたいという聡子の恋心を嬉しく思っている。

問六 ア

問七 エ

問八 イ